

左手のピアニスト

瀬川泰代

コンサート

2020年10月24日(土)

14:00~(13:30開場)

料金: 3500円

*茶話会があります

定員20名(要予約)

@ラ・ネージュ

090-8141-6350

ショートメール

でご予約

下さい。





瀬川泰代 (piano) :

広島県出身、オーストリア在住。エリザベト音楽大学を経て2020年グラーツ芸術大学大学院を全ての卒業試験において満場一致の最高成績で卒業。高校3年時に右手指に局所性ジストニアを発症し、左手のピアニストとしての道を歩むことを決意する。以降、演奏活動・国際コンクール受験は全て左手演奏のみでの取り組みである。2017年 City of Vigo 国際ピアノコンクール 2位 (スペイン)、2018年 Val Tidone 国際コンクール Silvio Bengalli 4位 (1位なし、イタリア) Nuova Coppa Pianisti 国際コンクール 3位、現代音楽賞 (イタリア)、2019年 Primavera Pianistica コンクール 2位 (ベルギー) Paola Baschetti 国際賞 3位、Fidapa 賞 (イタリア) など12の国際コンクールで入賞。左手のピアニストのための公開オーディション (石川県) 最優秀賞受賞、いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭にてオーケストラ・アンサンブル金沢と共演。広島交響楽団、ルーマニア国立バカウ交響楽団と共演、エヴメリア国際音楽祭 (ギリシャ) に招かれるなど、これまでに13ヶ国で演奏活動を展開する。

2019年 NHK BS1 スペシャル「私は左手のピアニスト」北陸朝日放送「左手がある。」にて密着取材を受ける。

池田沙弥 (violin) : 3歳よりヴァイオリンを始める。京都市立京都堀川音楽高校卒業。京都市立芸術大学卒業。第14回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門入選。第20回熊楠の里音楽コンクール2位。第16回日本演奏家コンクール弦楽器部門奨励賞。第17回同コンクール入選。2016年モーツァルテウム音楽大学夏期国際音楽アカデミーに参加、ディプロマ取得。3年前からオーストリアに留学。グラーツ芸術大学大学院に在籍。ヴァイオリンを石田なをみ、若林暢、池川章子、泉原隆志、Eszter Haffner 室内楽を豊嶋泰嗣、中島悦子、Andreas Woyke, Claudia Micheletti, Mathias Enderle の各氏に師事。

Programme

ポルトキエヴィチ
 ショパン (ゴドフスキー編曲)
 ショパン (光永浩一郎編曲)
 ショパン (瀬川泰代・池田沙弥編曲)
 熊本県民謡 (デュベ編曲)

詩人
 練習曲 作品10-3「別れの曲」
 マズルカ 第1番 嬰へ短調 作品6
 ノクターン 第20番 嬰ハ短調
 五木の子守唄による幻想曲

他

亭主ご挨拶

昨年12月の初めてコンサートをしていただいた瀬川泰代さん。

その後すぐに今年5月に普通のコンサートを企画していましたが、ご存知の通りコロナの時代となり、その間、どちらも諦めずに online を使って活動する中、住む場所も年齢も違いますが、お互いの距離が益々近づいたような気がします。5月に始まった泰代さんの online 話奏会。件の5月のコンサートはそのスタイルで、オーロラのある写真展と共に泰代さんは、広島のご自宅から出演いただきました。9月に3度トークのゲストとして出演させていただく中、10月にラ・ネージュから online 話奏会と共に、ゲストの京都在住のヴァイオリニスト池田沙弥さんにもご出演いただきリアルなコンサートをいたします。秋の午後のひと時。是非是非お運び下さいませ。

ラ・ネージュ 亭主 四方有紀 拝

Place 同時代の茶室ラ・ネージュ

1993年創立。

ローカルからグローバルに。

ヒト・コト・モノの出会いの場としての茶室を標榜し、古くからあるものから今だからできることも同時に楽しめる「同時代」ならではの幅広い意味でのアートを提示し、来た人に「目から鱗」となるような活動を展開している。

詳しくはHP (左)

FB ページ (右) をご覧下さい。



所在地 〒612-8036 京都市伏見区桃山町立売 58

